

不定詞の発展の10分
小テスト（発展・20点）

Class_____ No._____ Name_____ 得点_____/20

 このテストのゴール：「人」と to の置き場所を3つの形で決め、自分のことを1文書ける
記入式。正しい形を自分で作って書きます。 まちがえた問題は、テストのあとが本番—裏面のふり返しまでで1セットです。

1 () に正しい形を書こう。※そのままでもいい語もある！（各3点・計12点）

(1) 説明会の申し込み	It is important () () () sign up by Friday. (私たちが・3語)
(2) 担任の先生の連絡（注意！）	Ms. Kato () us to wear our school uniforms. (言った・1語)
(3) 高校生の兄のアドバイス	My brother wants () () () questions about the clubs. (ask・3語)
(4) 当日のバスの中	I don't know () () () () . (どこで降りればいいのか・4語)

2 対話を完成 説明会の帰り道、友だちと。() に1語ずつ。(各2点・計6点)

A: The school was great! It was easy (①) me to talk with the students there.
B: Yes. A girl in the robot club showed us (②) to move their robot.
A: I want to go there! But my parents want me (③) visit two more schools.

3 自分の番 It is ~ for me to ... と、家の人や先生があなたにしてほしいこと (want / tell + 人 + to) を1文ずつ (2点)

不定詞の発展の10分小テスト (発展・20点) 【解答】

丸つけをしたら、まちがえた問題に✓をつけよう

1 場面で選ぶ／正しい形

(1) important for us (for+人 は形容詞のあと・to の前) (2) told (～するように言う=tell+人+to。said us to とは言わない) (3) me to ask (人は want のすぐあと・to の前) (4) where (降りる「場所」がわからない=where to)

(1)と(3)は日本語の順(私たちににとって／私に)に引っぱられる誤り。人は「形容詞のあと」「動詞のすぐあと」に置く。(2)「～するように言う」は tell・ask・want の形で、say は使えない。

2 対話を完成

① for ② how ③ to

①過去でも It was easy for me to ～ と be動詞を変えるだけ。②show+人+how to ～。③want+人+to+原形—to のあとは visit のまま。

3 自分の番(例)

It is important for me to get up early on that day. / My teacher told me to take notes.

内容は自由。It is ～ for me to … の形になっていれば正解。形容詞は important 以外(easy・fun・necessary)でもよい。

☆採点と使い方 配点=1:各3点／2:各2点／3:2点(計20点)。16点以上=合格ライン、12点未満=定着ドリルの「まちがい診療所」からやり直すのがおすすめ。同じ場面・同じ測る力で基礎・標準・発展の3枚があるので、再テストや個別対応は別の難易度で行えます。

